

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する  
 ※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す  
 ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない  
 ※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による  
 ※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名 録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S11	1936	7	1	Mario Marega		伊人 カトリックサレジオ会碑文谷教会司祭 豊後キリシタン関係資料の収集
S11	1936			飯澤 章治	中外商業記者	中外商業新報 政治部部長
S11	1936			古澤 磯次郎	都新聞記者	同行 都新聞政治部部長 東京新聞編集局長 日本民党、協同主義政党結成 日本経済新聞論説委員 日本労働協会監事
S11	1936			長谷川 了	日本外事協会	同行
S11	1936			柴田 賢一	世界知識	同行 誠文堂新光社『世界知識』編集長 海軍報道班員
S11	1936	7	8	桂 義郎	慶應義塾体育会弓術部	慶応大学第4代師範十段
S11	1936	7	8	荒井 仁	他十二名	同行
S11	1936	7	22	魚澄 惣五郎	大阪府女子専門学校教授	日本史 龍谷大学、広島大学、関西大学教授
S11	1936	7	22	山崎 ==	外十三名	同行
S11	1936	7	23	水山 光高	京都府視学	京都市立皆山中学校校長 全国人権・同和教育研究会初代委員長
S11	1936	7	23	小林 澄兄		教育学 慶應義塾大学、学校教育実践 国語新教育協会設立 労作教育の実践
S11	1936	7	25	大岡 保三		文部省図書局図書監修官 国語調査官 文部省監修官
S11	1936	7	27	小宮 博	慶應義塾大学学生三田新聞学会員	
S11	1936	7	27	高林 兵衛	静岡県浜名郡積志村	民芸運動支援 和時計収集 日本民芸美術館、遠州病院の設立
S11	1936	8	3	出淵 勝次		勅撰貴族院議員 参議院議員 元外務次官、駐米特命全権大使 長崎医大で公民教育研修会のため
S11	1936	8	3	清水 澄	枢密顧問官	同行 憲法、行政学者 学習院、慶應義塾大学教授 最後の枢密院議長 大正・昭和天皇に憲法学を進講
S11	1936	8	3	溝口 廣	鹿児島県立第二鹿児島中学校	教諭
S11	1936	8	3	長沼 幸一	東京高等師範学校附属小学校	訓導 特殊教育
S11	1936	8	10	奥山 儀八郎	東京荒川区日暮里町	木版画家 商業広告・創作版画 珈琲研究家
S11	1936	8	10	羽原 =	東京市世田谷	同行
S11	1936	8	10	深谷 正秋	東京市蒲田区荏原中学校	地理学者 歴史地理学 条里研究
S11	1936	8	13	永滝 松之輔	名古屋市東区榑木町	東邦瓦斯役員
S11	1936	8	13	西田 武雄	日本エッチング研究所	版画家 銅版画の普及
S11	1936	8	19	渡邊 忠三郎	栃木県芳賀郡市塙小学校	校長
S11	1936	8	20	中村 満里子	台湾台北州連合女子青年団 内地視察員	
S11	1936	8	20	中村 ==		同行
S11	1936	8	20	森村 弘子		同行
S11	1936	8	20	蔡氏 宝玉		同行 草山公学校訓導
S11	1936	8	20	張氏 雲嬌		同行
S11	1936	8	20	林氏 素良		同行
S11	1936	8	20	黄氏 秀英		同行
S11	1936	8	20	高氏 宝桂		同行
S11	1936	8	20	呂氏 祝和		同行

S11	1936	8	20	吉村 辰子		同行
S11	1936	8	20	黒木 勇雄	右引率者	同行
S11	1936	8	24	秋山 光夫	帝室博物館	東京帝室博物館鑑査官 学芸課長 近世絵画史 金沢美術工芸大学教授、学長
S11	1936	8	24	西村 貞	大阪	同行 美術史家 本名:西村久次郎 石仏、庭園、茶道の研究
S11	1936			小澤 蔵之助	静岡県購販連理事	
S11	1936			村松 修一	静岡県周智郡園田村	同行
S11	1936			笠原 幸雄	陸軍騎兵大佐	参謀本部課長 初代ロシア課長 総務部長 関東軍総参謀長 第11軍司令官 日本郷友連盟理事長 のち陸軍中将
S11	1936			杉田 敏三	海軍大尉	海軍兵学校第54期生 のち海軍中佐 水雷参謀
S11	1936			松村 貞子	自由学園	
S11	1936			山室 善子		同行 教師 婦人之友記者 友の会中央委員 家庭友情使節として中国に留学 救世軍山室軍平の娘
S11	1936	9	9	蘇 玉英	朝鮮京城	京城商工会 青年実業家 銀座商店 石油ガソリン取扱い
S11	1936	9	9	穎川 忠治	東小島町	同行 十八銀行京城支店長
S11	1936	9	9	新井 作=郎	東京	同行
S11	1936	9	17	大谷 登	日本郵船株式会社社長	船舶運営会初代総裁 海軍中央統制輸送組合理事長 有馬丸進水式に参列のため
S11	1936	9	17	鈴木 =義	// 長崎支店	同行
S11	1936	9	17	松田 義雄	// 社長秘書	同行 調査課主任
S11	1936	9	26	増井 寿雄		
S11	1936	9	26	真 = =三	地方技師	同行
S11	1936	10	11	桑島 主計		外務省東亜局局長 オランダ公使 駐ブラジル大使
S11	1936	10	11	田上 鍛		同行 外務省東亜局属
S11	1936	10	12	西田 直二郎	京都帝国大学文学部国史研究室	教授 歴史学文化史学 国民精神文化研究所所員 滋賀大学、京都女子大学教授
S11	1936	10	12	中村 直勝		同行 京都帝国大学助教授 日本中世史 京都女子大学、大手前女子大学教授 日本古文書学会会長
S11	1936	10	12	藤 直幹		同行 京都帝国大学助教授 日本中世史 大阪大学教授、文学部長
S11	1936	10	18	鈴木 利	杵島炭礦株式会社	
S11	1936	10	18	富田 正次		同行
S11	1936	10	18	大川 生助		同行
S11	1936	10	18	中村 茂市		同行
S11	1936	10	18	安地 郎介		同行
S11	1936	10	18	立石 辰一		同行
S11	1936	10	18	松尾 大三		同行
S11	1936	10	18	堤 千里		同行
S11	1936	10	18	吉田 大四郎		同行
S11	1936	10	18	大坪 義孝		同行
S11	1936	10	18	加地 = =志		同行
S11	1936	10	18	木 = 寅児		同行
S11	1936	10	19	土屋 純一	名古屋高等工業学校長	建築史家 東大寺大仏殿明治修理に関与
S11	1936	10	19	長 俊一	広島高等工業学校長	同行 化学者 漆の科学的研究
S11	1936	10	22	鈴木 博也	京都府立京都第一高等女学校長	熊本県第2師範学校長 京都府立女子専門学校初代校長
S11	1936	10	22	濱田 秀男	全校教諭	同行
S11	1936	10	22	山田 巖	全校教諭	同行
S11	1936	10	29	佐佐 信一		広島通信局長 中央放送局長
S11	1936	10	30	別所 千賀照	福岡県女子師範	教諭 埼玉県師範学校教頭
S11	1936	10	30	西井 みね	外専攻科生徒拾弐名	同行 教諭兼舎監
S11	1936	11	1	氏家 親治	横須賀海軍艦船部長 海軍少将	

S11	1936	11	5	里村 百助	福岡県山門郡東宮永小学校	校長
S11	1936	11	5	芝浦 篠夫		同行
S11	1936	11	5	北原 テツエ	外生徒四十四名	同行
S11	1936	11	13	内野 章	勤労者教育中央会	
S11	1936	11	20	昇 曙夢	鎌倉	ロシア文学者 陸軍士官学校教授 ニコライ・ロシア語学院長 奄美群島本土復帰運動に尽力 本名:昇直隆
S11	1936	11	21	伊東 正		
S11	1936	11	21	惠 宗泰		同行
S11	1936	12	7	木村 莊十二	P.C.L	トーキー映画監督 P.C.L映画製作所メイン監督 満州映画協会 日本共産党員 (P.C.L=写真化学研究所)
S11	1936	12	7	畑本 秋一		同行 トーキー映画監督、脚本家
S11	1936	12		佐成 謙太郎	女子学習院教授	国文学者 中古文学 大東文化大学教授 鎌倉女学院理事長
S11	1936	12	9	村山 清六	海軍中佐	のち海軍大佐 駆逐艦、巡洋艦艦長
S11	1936	12	9	榎方 樽三郎	海軍造船中佐	同行
S11	1936	12	9	山県 駿二	海軍中佐	同行 のち海軍大佐 州の崎航空隊司令
S11	1936	12	9	松島 悌二	海軍機関中佐	同行 のち海軍機関大佐 第8戦隊司令部機関長
S11	1936	12	9	澤 勇夫	海軍少佐	同行 のち海軍大佐 砲艦艦長 三重海軍航空隊司令
S11	1936	12	9	滝山 学穂	海軍主計少佐	同行
S11	1936	12	9	秋田 仁郎	海軍医少佐	同行 のち海軍軍医大佐
S11	1936	12	9	横山 正治	海軍機関特務中尉	同行
S11	1936	12	10	莊野 静子	長崎友の会 外十一名	
S11	1936	12	17	赤羽 龍熊	海軍機関少佐 外十三名	
S11	1936	12	20	松木 正直	陸軍砲兵中佐	のち砲兵大佐
S11	1936	12	24	市河 三喜		英語学者 東京帝国大学文学部教授 語学教育研究所所長 英語教育の第一人者
S11	1936	12	24	市河 晴子		同行 三喜の妻
S12	1937	1	16	間 直顕	海軍中佐	「ああ特別攻撃隊」作詞
S12	1937	2	3	妹尾 盛親		岡山県立岡山高等女学校、長野県立松本高等女学校長 女子教育に尽力
S12	1937	2	7	高橋 正吉		埼玉県師範学校訓導
S12	1937	2	13	入谷 清長		海軍主計中将予備役
S12	1937	2	14	雪下 勝美	佐世保警備戦隊司令官、海軍少将	駐アルゼンチン大使館兼チリ大使館付海軍武官
S12	1937	2	14	川井 繁蔵	海軍中佐	同行 のち海軍少将 敷設艦、軽巡洋艦艦長 第30根拠地隊参謀長
S12	1937	2	22	遠藤 政直	横浜高等工業学校教授兼文部技師	横浜工業大学教授
S12	1937	2	22	岡本 勇象	九州帝国大学	同行 工学部教授 ディーゼル機関の研究 日本機械学会員
S12	1937	2	22	山県 清		同行 九州帝国大学工学部助教授、教授 伝熱・蒸気工学 宇部高等専門学校長 日本伝熱研究会会長
S12	1937	2	22	下山 美德		同行 九州帝国大学工学部助教授 名古屋大学工学部教授 名城大学学長下山宏の実父
S12	1937	2	22	久松 清吾	萱瀬小学校	校長
S12	1937	2	22	山口 源治	外生徒二十一名	同行
S12	1937	2	24	N.Basse		
S12	1937	2	24	坂井 喚三	文部省督学官	体育課 漢学 愛知第一師範学校、奈良女子高等師範学校、第八高等学校長
S12	1937	2	27	須川 邦彦	東京高等商船学校長	海洋文化協会常務理事
S12	1937	3	4	新城 新蔵	上海自然科学研究所長	天文学、宇宙物理学 中国古代暦学 元京都帝国大学総長
S12	1937	3	8	岡田 文秀	長崎県知事	内務官僚 千葉県知事 厚生事務次官
S12	1937	3	12	本山 義雄	長崎県立水産学校生徒 外七名	
S12	1937	3	13	青木 郁子	活水女子専門学校生徒	
S12	1937	3	13	井高 和子		同行

S12	1937	3	13	大塚 民子		同行
S12	1937	3	13	尾平 奈津子		同行
S12	1937	3	13	威 善化		同行
S12	1937	3	13	北村 房子		同行
S12	1937	3	13	喜 = 真子		同行
S12	1937	3	13	平田 鶴代		同行
S12	1937	3	13	村上 淑子		同行
S12	1937	3	13	元村 久子		同行
S12	1937	3	13	山本 壽子		同行
S12	1937	3	13	岡部 桂蔵		同行
S12	1937	3	18	森本 = = 郎		
S12	1937	3	18	長尾 俊一		同行
S12	1937	3	22	位藤 義貫	広島県立尾道中学校 外生徒百十三名	教諭
S12	1937	3	26	室田 有	台北第二高等女学校長	台北高等商業学校教授 静岡英和女学院長
S12	1937	4	5	橋本 義郎	若松市立病院小児科	
S12	1937	4	5	枘田 英一郎		
S12	1937	4	12	石川 菊雄	宮崎県女子師範学校	教諭 宮崎県立福島高等女学校、都城高等女学校、宮崎女子高等学校、宮崎女子中学校長
S12	1937	4	12	松野 唯義	外二部二年生三十九名	同行 教諭
S12	1937	4	14	兼常 清佐	東京	音楽学者 音楽評論家 音響学
S12	1937	4	14	兼常 登く子		同行 清佐の妻 本名:兼常篤子
S12	1937	4	14	久米原 脩文	川越市会議長	同行
S12	1937	4	14	平野 清	明大政経学部卒業生	
S12	1937	5	4	山代 辰治	広島女学院	
S12	1937	5	4	北村 二郎		同行
S12	1937	5	4	芝 = タヅ		同行
S12	1937	5	4	柴崎 幸栄	他八十九名	同行
S12	1937	5	7	阿部 邦一	内務省道路課長	
S12	1937	5	8	黒川 安弘	佐賀県西松浦曲川小学校 他二十五名	
S12	1937	5	10	川原 睦男	九州帝国大学学生	
S12	1937	5	10	富田 正文	慶應義塾塾監局	総務課長 慶應義塾参事 慶応通信株式会社常務取締役会長 塾歌歌詞作者
S12	1937	5	11	有吉 忠一		勅撰貴族院議員 横浜商工会議所会頭 元千葉県、宮崎県、神奈川県、兵庫県知事
S12	1937	5	11	角田 貞雄		同行
S12	1937	5	18	加藤 = 之助	浜松市議員	
S12	1937			植田 = 一郎		同行
S12	1937			犬塚 伊三郎		同行 犬塚坂の造作
S12	1937			木村 = =		同行
S12	1937			加藤 = 萱平		同行
S12	1937	5	20	鍵山 俊六	佐世保海軍病院 海軍軍医中佐	のち海軍軍医大佐 氷川丸病院長
S12	1937	5	21	西川 義英	北海道帝国大学	医学部教授 外科 同愛記念病院外科医長 健保川崎病院長
S12	1937	5	26	長屋 順耳	女子学習院	院長 文部省督学官 東京外国語学校長
S12	1937	5	26	山口 徳三郎	女子学習院教授兼学監	同行 国語学
S12	1937	5	26	吉場 ノブ	女子学習院教授 外学生十七名	同行 栄養学
S12	1937	5	26	岡田 宇之助		元佐賀県、茨城県知事 住友合資会社理事
S12	1937	5	27	蘆野 弘	外務省見学団 外十一名	通商局第2課長 大臣官房文書課長 シカゴ総領事 初代公正取引委員会委員
S12	1937	5	27	天羽 英二	満支旅行の途上 特命全権公使	外務省情報部長 スイス、イタリア特命全権大使 外務次官 内閣情報局総裁
S12	1937	6	22	林 壽	東京市麻布区富士見町 内閣統計局	統計官補

